

平成 2 8 年 1 2 月 2 2 日
1 0 1 会 議 室

平成 2 8 年第 2 4 回
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成28年第24回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成28年12月22日(木)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 2時24分

2 場 所 101会議室

3 出席者

教育長 小町 邦彦

教育委員 松野 登 田中 健一

佐伯 雅斗

署名委員 松野 登

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 栗原 寛

教育総務課長 庄司 康洋

学務課長 田村 信行

指導課長 小瀬 和彦

統括指導主事 金井 誠

教育支援課長 矢ノ口美穂

統括指導主事 桐井 裕美

学校給食課長 新土 克也

図書館長 土屋英眞子

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 西上 大助

案 件

1 報告

- (1) 平成28年第4回立川市議会定例会報告について
- (2) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始について

2 その他

平成28年第24回立川市教育委員会定例会議事日程

平成28年12月22日

101会議室

1 報告

- (1) 平成28年第4回立川市議会定例会報告について
- (2) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始について

2 その他

◎開会の辞

○小町教育長 ただいまから、平成28年第24回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に松野委員、お願いいたします。

○松野委員 承知いたしました。

○小町教育長 次に議事内容の確認を行います。本日は、報告2件でございます。その他は議事進行過程で確認をいたします。

次に、出席者の確認を行います。栗原教育部長、お願いいたします。

○栗原教育部長 本日の第24回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございますが、教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、金井統括指導主事、教育支援課長、桐井統括指導主事、学校給食課長、図書館長でございます。

◎報 告

(1) 平成28年第4回立川市議会定例会報告について

○小町教育長 それでは、1報告(1)平成28年第4回立川市議会定例会報告について、に入ります。

栗原教育部長、お願いいたします。

○栗原教育部長 それでは、平成28年第4回立川市議会定例会について報告いたします。

本日ご準備しました資料につきましては、一枚がA4両面刷りのもの、もう一つが綴りになっています。こちらは資料1から5までとなっており、市議会定例会に関する資料を綴っているところでございます。

まず会議日程でございますが、資料1のとおり、平成28年11月30日から12月19日までが会期でございました。

そして11月30日から12月6日まで4日間、一般質問が行われ23人の議員から質問が出されました。質問の件名につきましては別紙の一般質問順序表、資料2でございますが、ページでいきますと2ページから10ページとなります。

それでは順次、教育委員会に関係します質問及びそれに対する答弁内容について、ご説明をいたします。

まず2ページです。受理番号2番、伊藤大輔議員でございます。

多文化共生に関しまして、外国籍の家庭と子どもたちの実態ということで、現在立川市にお住いの外国籍の児童・生徒に対する実態についてご質問をいただきました。平成28年11月1日現在112名の外国籍の児童・生徒が本市の小中学校に在籍をしています。日本語の理解が十分でない児童・生徒に対しては通訳協力員を学校へ派遣しています。

また、学校、家庭、地域におけるコミュニケーションに関する質問につきましては、日本の生活に慣れるよう学校においても、PTA、子ども会、医師会等々と連携をしております。

議員から、総合的見守りシステムの対象に含めたらどうかという要望をいただきましたが、これにつきましては庁内で様々な部署で構成をしております検討委員会がございますので、その中で検討することをご答弁申し上げました。

資料4ページです。受理番号5番、松本まき議員からです。

柴崎町の子どもたちの居場所づくりについてということで、これにつきましては概ね学童保育所、一小エリアが今、待機児が20人程度いらっしゃいますので、主に子ども家庭部を中心に答弁をいたしました。学童に入っていない子どもたちが長期休暇中どう過ごすのかということで、現在、一小の児童の増加傾向について教育部が質問を受けたところでございます。それに対しては、第一小学校に通学する児童は平成25年度以降増加傾向にあり、今後も平成32年度までは増加すると予測していると答弁を申し上げます。

5ページです。受理番号8番、谷山きょう子議員からです。

長期不登校の人数増加から、学校教育のサポート事業には民間事業者との連携をというタイトルでご質問をいただきました。はじめに不登校の現状についてということで、平成27年度の不登校児童生徒数につきましてご答弁申し上げます。小学生が41名、中学生が162名で、傾向としては中学校で不登校の出現率が高くなっていることを申し上げます。またその不登校の対応につきましては、適応指導教室、子ども家庭支援センターとの連携、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、家庭子どもの支援員の活用など行っているということを申し上げます。

また、サポート事業には民間事業者との連携をというご提案をいただきました。それにつきましては、学校外でサポートしている企業とはサポート会議の場で情報共有を図り、多方面からの適切な支援を進められるようにするというところをご答弁申し上げます。

受理番号9番、高口靖彦議員からです。

子ども達の国際交流の後押しをということで、特にニューカレドニア交流支援についてご質問をいただきました。答弁としては、教育委員会としては交流実施団体からの校長会での説明、ホストファミリー募集に協力をしています。交流事業は異文化理解を深め、オリンピック・パラリンピック教育にも合致するというところで申し上げます。

資料6ページ、受理番号10番、福島正美議員からです。

子どもたちの遊び場についてということで、特にこれは公園または学校の校庭等についてご質問いただきまして、こちらからは学校校庭利用のルールについて答弁申し上げます。放課後、児童等が校庭で遊ぶ場合は、一旦下校してから再び来校することが基本となっている。事故対応等で事故に対する対応を行っていない学校もありますが、概ね多くの学校では、対応を行っているということでございます。

受理番号11番、永元須摩子議員から、学校設備の改修について3点いただきました。

1点目は、特別教室へのクーラー設置についてでございます。平成28年度末時点で空調機が未設置の小中学校は19校、101教室となりますが、今後も計画的に設置を進めていきまるとご答弁申し上げます。今年度につきましても中学校3校、特別教室の空調機設置をして

おります。来年度も、今まだ予算編成時期でございますが、特別教室のクーラー設置を進めてまいりたいと考えています。

続きまして、プールの温水シャワーの設置につきましては、平成 28 年末現在で温水シャワー未設置の小中学校は全体で 8 校となります。今後も計画的に設置を進めるとご答弁申し上げます。後ほど補正予算の説明をいたしますが、これにつきましては補正予算で未設置の学校の対応をいたします。

続きましてトイレの改善でございます。現在は保全計画による大規模改修、中規模改修にあわせてトイレ改修を実施する方針としている。また、大規模改修以外でも洗浄機の改修等改善を図っているということを答弁申し上げます。

受理番号 12 番でございます。瀬順弘議員からです。

こちらにつきましても学童保育所、特に柴崎町についてでございます。ご質問いただきまして、第一小学校で特に長期の休みになります夏休み期間中のサマー学校についてご質問いただきまして、こちらについては、子ども家庭部と第一小学校で協議をし、場所等の確保については調整していきたいということを答弁申し上げます。

受理番号 14 番、山本みちよ議員です。資料 7 ページとなります。

がん教育について、ご質問をいただきました。小学校 6 年と中学校 3 年でがんを取り上げて学習をしております。今後国、東京都から、がん教育に対する通知が示された段階で外部講師等の活用を図ってまいりたいということを答弁申し上げます。

受理番号 16 番、上條彰一議員です。資料は 8 ページとなります。

学校給食につきまして 3 点質問いただきましたが、時間の関係で 2 点の質問となりました。1 つは学校給食の目的について、これにつきましては学校給食法に基づき実施、教育活動の一環として位置付けているということを申し上げます。

もう 1 つは小学校の単独調理場の存続についてでございます。このことに関しましては、市長公約に基づき庁内検討委員会で検討を進め、学校給食共同調理場の新設に係る基本的な考え方を策定しました。単独調理校は学校給食衛生管理基準に沿った改修が難しいため、共同調理場に移行する方向とした。現在、学校給食運営審議会でのことについては協議をしていること。単独調理場の改修にあたっては平成 25 年度に委託で実施した設計に基づき改修レベルを検討したことをご答弁申し上げます。

受理番号 17 番、木原宏議員からです。8 ページでございます。

学校施設の設備の更新についてということで、小中学校の防犯カメラについてご質問をいただきました。答弁としましては平成 13 年の大阪池田小の事件を受け、本市においても平成 14 年 3 月に全校に防犯カメラを設置いたしました。故障した場合は修繕対応をしております。また、今後 5 年間で全校に防犯カメラを設置する予定となっていることをお答え申し上げます。

受理番号 18 番、中山ひと美議員から、教育行政についてご質問いただきました。

大きく 2 点でございます。1 点目は、全国学力・学習調査を踏まえた教育施策についてで

ございます。これにつきましては、小学校、中学校ともに昨年より学力が調査において上昇していること。また基礎的・基本的な学力の定着は図られており、今後、思考力・判断力・表現力等の学力の伸長を図ることが課題として認識していることを申し上げました。

またICT活用の現状と成果・課題につきましては、平成28年9月に全ての小中学校にタブレット端末を配置、教育の使用回数も伸びていること、今後は研究校での授業公開、開発委員会での授業研究等を通して、効果的な活用方法を発信してまいりたいことを申し上げました。

また、適応指導教室での学習指導においても、タブレット端末の導入が効果があると考え、今後導入することを申し上げました。

最後でございます。受理番号22番、稲橋ゆみ子議員からです。

子どもたちの個性を応援する発達支援・教育についてということで、現在策定中の「第2次特別支援教育実施計画」・新たに策定される「発達支援計画」について、ご質問をいただきました。答弁といたしましては、発達相談から就学相談に至る関係部署の早期連携をはじめ巡回相談や特別支援教室の導入を進めました。一方で改善の余地のある事項もあり継続して取り組んでいくこと。また、副籍制度は事例紹介や事例研究等で充実を図ります。特別支援教室キラリの巡回指導教諭は2人ペアを原則としOJTを行いながら巡回を行うと申し上げました。

一般質問につきましては以上でございます。

続きましてA4のほうの資料でございますが、3請願・陳情の付託、議案審議等です。

12月7日に、教育委員会に関するものとしましては、議案第109号、請願第7号、陳情第37号が文教委員会に付託されました。それぞれの議案、請願、陳情につきましては文教委員会のところで件名を記しております。また、請願第7号、陳情第37号につきましては、それぞれ資料の12ページから13ページが請願、14ページが陳情になります。その内容についてこちらに載せております。

文教委員会に付託をされ、12月14日に文教委員会が開催され、この議案、請願、陳情について審議がされました。議案第109号につきましては、立川市林間施設指定管理者の指定について、でございますが、これは既に教育委員会においても議案としてご提案をしたもので了承をいただいたものでございます。これにつきましては可決すべきものとして文教委員会での結論を得ました。

また、請願第7号及び陳情第37号につきましては、不採択すべきものということで文教委員会での結論を得ました。この議案につきましては、最終日、12月19日に本会議において審議され、議案第109号・立川市林間施設指定管理者の指定について、は全会一致で可決、請願第7号及び陳情第37号につきましては、賛成少数のため本会議においても不採択という結論を得たところでございます。

続きまして、文教委員会の報告事項でございます。資料の11ページをご覧ください。

報告事項につきましては全体で8件、そのうち総合政策部から1件、教育部から7件となっております。その後、所管事項の質問が4人の委員から出されております。

それでは、文教委員会の報告内容等についてご説明をいたします。

報告事項1件目でございます。これにつきましては総合教育会議の報告ということで、総合政策部企画政策課から報告をいたしまして、総合教育会議でどのようなことが議論されたのかということ報告するとともに、今回につきましては東京農工大学の朝岡先生をお招きして社会教育の今後のことにつきましてご講演をいただいたということも報告いたしました。その中で幾つか委員の方からご質問いただきましたが、代表的なものとしましては、社会教育の今後の方向性、どのような話がされたのか、また学校支援地域本部事業の今後の展開についてはどのようになるのか、このような質問をいただいたところでございます。

続きまして教育部の報告事項は7点ございますが、1点目の報告は、職員の懲戒処分についてございまして、この件に関しましては、この報告に入る前に教育長から今回の事案についてお詫びを申し上げたところでございます。職員の懲戒処分につきましては、これも教育委員会のほうで既に報告をしているところでございます。ご質問につきましては、新聞報道後に市民から意見を寄せられたのかということ、それと処分の量定の判断について、こういった質問がされました。

質問の3番目、4番目は関連することでございます。新校舎建設マスタープラン骨子案について、及び学校統合に係る検討状況について、でございます。これにつきましても現在の進捗状況につきましては教育委員会に報告しているところでございますが、このことに関しては、校庭の広さについて、ワークショップの開催状況、出された意見等について、実際、校舎等の配置図面を出しておりますので、プールの配置が屋上になっていることについて、北側のアプローチ空間について、こういった内容についてご質問をいただきました。

報告事項5番目は、南砂小学校校舎等の大規模改修工事の延期についてということで、外壁にアスベストが含有されていることが分かり、一部の学校で大規模改修の延期ということにつきまして見解を申したところでございます。このことにつきましては保護者、地域への説明会の開催について、国からのアスベスト処理の指針がいつごろ出されるのかというような質問がされたところでございます。

報告事項6番目、確かな学力向上の取組について、これにつきましては、学校質問紙調査は学校単位で実施されているのかということ、また知識、技能の活用を重点とした計画はどのような周知をしているのかという質問がございました。

報告事項7番目につきましては、小中学校のコンプライアンスの徹底について、これにつきましては教育委員会にご報告をいたしました。これについては大きな質問はございませんでしたが、コンプライアンスを徹底していることを申し上げたところでございます。

報告事項8番目につきましては、第2次特別支援教育実施計画の検討状況についてでございます。このことにつきましてはインクルーシブ教育に前進するものはないのか。また子ども家庭支援センターとの連携について、就学相談、発達相談はどこに力点をおいたのか、などについて質問をいただいたところでございます。

続きまして所管事項質問でございます。

まずお一人目、中山ひと美委員から3点ご質問いただきました。

1点目のクラブ活動についてでございます。これにつきましてはクラブ活動の現状、民間のスポーツ施設等との連携について、体育専科の教員を配置すべきと考えるといったこと、こういったことにご質問をいただきました。

また2点目につきましては、障害者スポーツの普及についてということで、障害者スポーツの理解と普及についてどう考えるか、また、その交流を深める上で今後の計画はどのようなになっているかご質問がございました。

続きまして、永元須摩子委員からは、小中学校のいじめや体罰についてでございます。

3点ご質問をいただきました。1点目は、いじめについて問題になっている案件があるかどうかでございます。2点目は、体罰の調査、全校で児童・生徒に実施しているのか、またその方法についてでございます。3点目につきましては、東日本大震災により立川市に避難をしている福島県を中心として児童・生徒が何人いるのか。また、その児童・生徒についてどのような対応をしているのか。他の自治体の事例で、被災地から避難されている児童・生徒に対するいじめ等の事例が新聞報道でございました。そういった事例が立川市内でもあるのかというようなご質問をいただいたところでございます。

少し戻りますが、中山ひと美委員の所管質問のところ、小中学校のトイレの改修について、これは一般質問で永元議員からいただいたところでございますが、大規模改修、中規模改修だけでなくトイレの改修を進めるべきではないかというご質問をいただきまして、これについては教育委員会が課題として認識している。どのようなことができるかということで今予算編成で詳しいことは申し上げられないのですが、それについては課題と認識して検討しているということを申し上げました。

山本みちよ委員からは「がん教育」についてでございます。がん教育については、国からの資料には平成29年度に全学校に進めるということがあり、その資料に基づいてご質問いただきまして、外部指導員の活用についてご質問いただきました。既に立川市でも小学校で講師に来ていただいて、がん教育についてお話いただいた学校があることを説明したところでございます。

最後、中町聡委員からは、単独調理場の存続と学校給食の改善ということで、これは一般質問の中で時間の関係で質問できなかったところを所管の中で中町委員から質問をいただきました。単独調理校につきましては先ほど一般質問の申し上げたとおりでございます。学校給食の改善につきましては単独校2校でステンレスの食器を使っているところがあって、私どもも課題として認識をして、今後どのように改善できるかということの説明申し上げたところでございます。

文教委員会のそれぞれのご報告、質問等については以上でございます。

一枚目の資料に戻ってください。

議会の最終日が12月19日に開催されました。議案、請願、陳情につきましては、先ほど申し上げたとおりの採決結果でございます。また当日、議案第138号につきまして追加送付

され審議されました内容につきましては、立川市教育委員会委員の選任についてでございます。これにつきましては、市長より、田中健一委員、伊藤憲春委員の再任についてご提案申し上げ、議会の同意がされたところでございます。

委員の任期につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき委員の任期が特定の年に偏らないようにということがありまして、今現在、委員の任期については1年ごとで1人ずつ任期満了となるということをしてしておりますので、伊藤委員につきましては1年、田中委員につきましては4年間の委員任期になっております。

最後でございます。同日、補正予算の審議も行われまして、教育関係予算、実は非常に多い補正予算を提出させていただきました。大きな内容としましては賃金について、対象者の増加に伴い、当初予算では不足するものにつきましては補正予算を計上したところでございます。

また学校施設の修繕につきましては一部平成29年度予算の前倒しという形で行うものもございます。先ほど一般質問で小学校プールの温水シャワーについて質問いただきましたが、ここで補正予算で小学校で4校、中学校で3校、補正予算をお認めいただきまして、そうすると小学校でけやき台小学校だけがついておりませんが、けやき台小学校につきましては平成29年度で校舍使用が終了します。その後は若葉小学校、そして平成33年度は新校舎という形になりますので、それを除く全校には温水シャワーにつきましては来年設置という形となります。

それと大きいところだと古民家園の母屋、旧小林家を移築したものでございますが、かなり屋根等に修繕が必要な箇所がありまして、これにつきましても平成29年度前倒しという形ですがここで修繕対応をします。

あと、学校施設等につきましても修繕等、問題のある所につきましては対応いたします。

上記の補正予算を提出させていただきました。大きな修繕等につきましては今後契約等を結んで、年度内に完了できませんので、翌年度、平成29年度に予算を繰り越した中で対応してまいりたいと思っております。

それとこの中で上の表には出ておりませんが、外国語指導助手いわゆるALTでございます。これにつきましては平成29年度の当初からALTの派遣をしたいと考えておりまして、毎年この時期に契約ができる状況には予算を出させていただきました。執行したら29年度になるのですが、その契約更新のための手続きの補正についても承認いただきました。今回につきましては今後の学習指導要領の改訂を見越した中で、小学校3年・4年にも外国語活動ということで29年度から実施しておりますので、その部分のALTについても含んでおります。

大変長くなりましたが、12月議会報告につきましては以上でございます。

○小町教育長 報告ありがとうございました。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○**田中委員** 栗原教育部長、ありがとうございます。一般質問及び文教委員会における議員の方の質問に対して一つ一つ丁寧に答弁いただいております。

一般質問で12人の議員から質問いただいたわけですが、その中で受理番号17番、小中学校の防犯カメラについてですが、先ほど説明がございましたが、平成13年の大阪池田小の事件があって本市では平成14年3月から設置したわけですが、これから修繕を含めて今後5年間で全校の防犯カメラを更新する予定ですよという話があったかと思いますが、今後の見通しについて伺いたいというのが1点です。

2点目は、補正予算についてでございます。平成28年度の立川市の一般会計補正予算第6号です。事業名は小学校施設営繕及び中学校施設営繕、これについては今後どのような工事をお考えになっているのか、その辺りの説明をお聞きできればと思います。

3点目は、請願第7号、若葉小学校、けやき台小学校の統合問題についての請願書ですが、これについて自分の考えを申し上げたいと思います。

結論としましては、未来を担う立川の子どもたちのために教育委員会の責任でマスタープラン策定を粛々と進めていただきたいと。これについては既に様々な機会、定例会、総合教育会議等で申し上げたわけですが、とりわけ平成27年3月議会で2校の統合が議員の方に採択され、それを受けて8月26日の第2回の立川市の総合教育会議、ここで統合の理由について私も具体的に申し上げたと思います。それを受けて平成27年9月10日の第17回教育委員会定例会で全教育委員の皆さんの合議で統合は決定。それを受けて教育委員会としては教育長を中心に保護者、地域の方々に丁寧に説明されたわけです。

その中で1月22日、1月23日、若葉小で2回、けやき台小で1回、参加者が69人、発言が37人、意見提出55人と。また、様々な質問があった中で、それに対して報告書の中で丁寧に回答しています。地域、保護者に対して10回にわたって説明会を行っている。私はこれだけ丁寧にやっている教育委員会というのは、いまだ見たことはないですね。よくされたということで感謝申し上げるとともに、結論としては先ほど申し上げたように、教育委員会の責任の下、子どもたちのために粛々とマスタープランについてはお進めいただきたいというのを重ねて申し上げたいと思います。

○**小町教育長** 庄司教育総務課長。

○**庄司教育総務課長** まず防犯カメラのご質問でございますけれども、先ほど部長からもお話がありましたように、5年間で全て、平成14年に設置した防犯カメラを入れ替えていくという作業をしていきます。東京都の補助金がございます、1校当たり4台ぐらい、校門とか死角になるような所、校門を中心に4カ所、一部4台以上のところもありますけれども平均して4台設置してございます。平成14年度から10年以上経ちまして老朽化が進んでおります。東京都の補助金が50万円ございますので、これを利用して5年間かけて入れ替えをしていきます。

2点目でございます。こちらは大きくくりで営繕ということでございますが、小学校施設営繕の修繕料、施設でございます。606万6千円でございます。具体的に申し上げますと、小

学校の消防設備修繕でございます。全ての学校ではございませんけれども、かなり消防設備に不具合が生じていまして、若干指摘もされている所もでございます。誘導灯の入れ替え、消火器等を入れ替えていくようなものもございます。

各学校営繕工事でございます。2808万8千円でございますけれども、こちらにつきまして細かいところを申し上げますと、幸小学校の汲み上げポンプに不具合が生じていまして、こちらを入れ替えていくということでございます。

あと第四小学校の教室の引き戸改修工事でございます。教室の引き戸が若干不具合が生じていまして、安全・安心のために入れ替えるという形です。要は指が挟まったりということが起きそうな、場合によっては振動で落ちてというようなことを防ぐために引き戸の入れ替えを行います。

あとは小学校の体育館の通路の防水工事であったり、第五小学校の登り棒の設置工事です。実は第五小学校、大規模改修工事で登り棒を一旦撤去しましたが、それを再設置しようとしたところ、なかなか再設置が難しいということで入れ替える予算でございます。

あと第三小学校の正門改修、老朽化しているということでしたので改修工事をします。

小学校の営繕工事は以上でございます。

中学校の施設営繕ですが310万1千円、これは同様に、誘導灯の入れ替え、消火器等を入れ替えていくようなものでございます。

各学校、営繕工事でございます。248万4千円でございますけれども、第三中学校の体育館の加圧給水装置の改修工事でございます。体育館、プールではなくトイレや水道の給水装置が若干老朽化している状況です。こちらを修繕していくものでございます。

あとは記載のとおりですのでご覧いただければと思います。

最後、請願の件ですが、ご理解いただいて励みになります。実は昨日、マスタープラン検討委員会がございました。校舎の配置等について概ねご了承いただけるような状況になりました。1月27、28日に保護者の皆様に説明会ができる段取りまで進んでまいりました。そこでは校舎の配置案とあわせて通学路の安全対策等ご説明するような形となっております。請願、陳情等と同様のご意見もあろうかと思いますが、私どもとしては、平成27年9月27日の定例会で決定した内容を丁寧にご説明し、進めていきたいと考えております。

○小町教育長 ほか、ございますか。松野委員。

○松野委員 議会の報告ありがとうございます。それを聞いていて陳情とか請願の統合問題が気になります。前回の話でも、私、理念の考え方が提案されたときにも申し上げたのですが、やはりここは一番関心のある統合問題、是非この地域の期待であるとか関心を高めるように、なおかつ新たな学校づくりに、いろいろな方々が参画できるような学校づくりを進めていくことが重要なんだと思いました。さらに、理念づくりもさることながら、この陳情書などを見ますと指導に係わる問題が多いですね。だから、理念から学校像や児童像、学校経営の仕方等出てくるでしょうけれど、指導法が結構問題なのかなということだとか、あるいは小中連携の問題も、私何回も言っていますが、何といたっても学ぶ、学習のうえでの連携というの

ができていかないとダメなんだと思うのですね。

だから例えば小中学校区で何を大事にして、つまり資質とか子どもたちに培いたい力ですよ。これを明瞭にして小、中へつなげていくような小中連携を本格的にやっていかなければいけないだろうなと話を聞きながら思っていました。教科学習の中できちっと連携させていく、そうするともっとももっとも小中連携の意味合いも強くなっていくだろうなというふうに思います。私は、もっと論理的な思考というものを小から中へ軸として位置付けるならば、これは大変良い勉強スタイルが継続されていくわけですよ。

そのようなことを願っているわけですが、それは置いておきまして、やはり私は指導方法に関心があり、指導の如何によっては子どもの人間関係も学力も、あるいは子ども自身の自己肯定感を高める、そういうことも大きく関係してくるわけで、今度はそういったことも含めながら議論をされていくと、どんな学校ができるかなというので具体的に見えてきますし、そして地域の方々、子どもたち、どういう参画の仕方があるのか、学校づくりにつながっていくかということも示していただけると、また来年から交流が始まっていきますし、いい力になっていくのではないかなというふうな感想を持ちました。

○小町教育長 ほか、ございますか。佐伯委員。

○佐伯委員 私からは、一般質問5番の松本議員と12番の瀬議員から出ている学童保育所ですけども、長期休暇のことについてお尋ねいただいているイメージですが、今現在、通常、例えばきょうの段階で学童に入れないお子さんがいらっしゃるということによろしいですか。

○小町教育長 栗原教育部長。

○栗原教育部長 第一小学校の建替えのときに学校内に学童保育所を設置しました。先ほどの答弁内容を説明しましたが第一小学校の児童数が増加してしまっていて、当初、利用していた学童を上回る希望者がいらっしゃいまして、実際、希望したけれども入れない方が20名程度いらっしゃると伺っております。

○小町教育長 佐伯委員。

○佐伯委員 今、現状でも学童に親御さんは通わせたいけれども、通っていないお子さんがいるということで、改善をもちろんしていくべきなんですけれども、学校側では、通っていないお子さんが今どのように放課後過ごしているのかということ把握はしているような形によろしいですか。

○小町教育長 栗原教育部長。

○栗原教育部長 もちろん、20名程度通えないお子さんがいることは課題として改善すべきと考えております。実際、学童が利用できないので自宅等で過ごしていると認識しています。また、保護者の方が中心となって自主的に、長期休暇のときに学童ではないのですが自主的な活動をしていただいていると伺っております。

○小町教育長 佐伯委員。

○佐伯委員 地域的にはかなり繁華街に近いですし、お子さんがもしご家庭に帰られて、一人でぶらぶら街に出て、駅前をいつまでも歩いているというのであれば好ましくないし、是非

どのように過ごしているのかということになるべくヒアリングしていきなり、学校側が把握をしていただいで対応していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

また、砂川地区のほうでも行く場所がない子どもたちがいて、親御さんたちがそんなようなものをつくりたいということをお話しておりましたので、是非そういう形ができあがったら報告いただいで、他の地域に参考にしていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

○栗原教育部長 先ほどの、学童に通えていないお子さんの放課後の過ごし方についてですが、一小は放課後子ども教室の活動回数が非常に多いので、そういったところの利用も多いというのが現状です。

○小町教育長 ほかございますか。田中委員。

○田中委員 先ほどの若葉小学校とけやき台小学校の統合について、松野委員から大事な視点であるとお話があったのですが、私も同意見でして、一貫して私ども議論してきたのは子どものためにということなんですね。立川の将来を担う子どもたちに何ができるか相当議論してきたわけですので、したがって、是非とも保護者の方、地域の方々に対しては、子どもたちのためにと、そういうことで教育委員会としてはご理解いただきたい、そのことを再度申し上げておきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございますので、これで報告（1）平成28年第4回立川市議会定例会報告について、報告及び質疑を終了します。

◎報 告

（2）国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始について

○小町教育長 次に、報告（2）国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始について、に入ります。

土屋図書館長、ご説明をお願いいたします。

○土屋図書館長 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始について、ご報告申し上げます。

国立国会図書館では所蔵資料のうち約260万点をデジタル化し国立国会図書館デジタルコレクションで公開をしています。しかし、インターネットを通して誰でも自由に画像が見られるものは著作権処理が終了した約50万点の資料に限られており、絶版などの理由で入手が困難な資料を国立国会図書館の承認を受けた公共図書館などの管内で閲覧や複写ができる図書館向けデジタル化資料送信サービスが平成26年1月から始まっております。

立川市図書館でもこのサービスを利用するために閲覧用と管理用端末の環境を整え、立川市国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用要綱を定め、国立国会図書館に申請をいたしました。12月14日に承認を受けることができたため、年が明けて1月4日からサービ

スを開始したいと思っております。

具体的には、資料でお示しをいたしましたように、中央図書館3階レファレンス室に設置してあります端末のご利用により、相互利用を含む個人登録者の方がインターネットでは公開されていない約142万点の資料の閲覧と著作権の範囲内での複写ができるようになり、本市図書館の蔵書を補う情報提供サービスの向上、強化となるものでございます。

今後、館内の掲示やチラシ、公式ホームページやツイッター、広報たちかわで周知を進めてまいります。また、市の広報の掲載につきましては、当初サービスの開始を2月1日から想定をしていたため1月25日号を予定しておりましたが、大変早くご承認をいただきましたので、急きょ1月10日号の広報たちかわに追加をし、お知らせをしております。

報告は以上です。

○小町教育長 報告ありがとうございました。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 私も図書館が自分の人生のようなもので使わせていただいております、レファレンスの方々、皆さん熱心に取り組んでいただいていることをこの場を通して心からお礼申し上げます。

今ご説明がありました国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、本来ですともう少し遅れるのが早く承認されたということで、改めて土屋図書館長はじめ関係の皆さんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。これで報告(2)国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始について、報告及び質疑を終了します。

○小町教育長 次に、その他に入ります。

その他、ございませんか。

〔「ありません」との声あり〕

◎閉会の辞

○小町教育長 次回の日程を確認いたします。次回、平成29年第1回立川市教育委員会定例会は、平成29年1月12日午後1時から、208・209会議室で開催いたします。

これをもちまして、平成28年第24回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後2時24分

署名委員

.....

教育長